

○「地域営農の状況を調査、共有」

(京都府宮津市 栗田地区連絡会議)(平成30年度第3回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

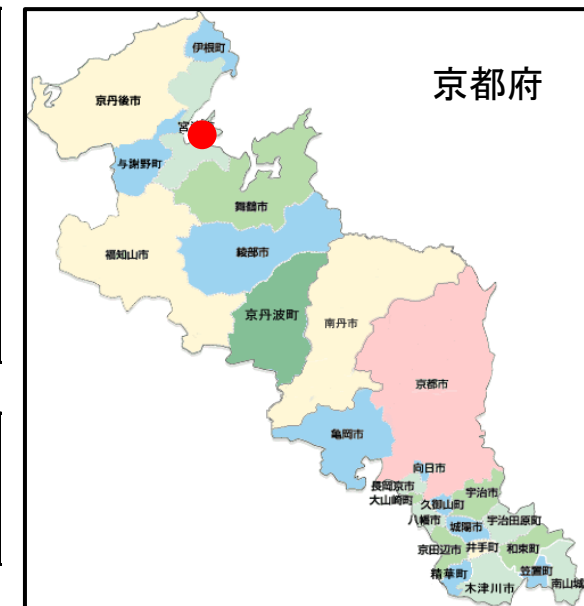
- 日時(時期): 平成30年8月30日(木) 19:00～22:00
- 場 所: 宮津市栗田集会所
- 出席者: 委員3人、協力員10人
事務局2人 ※委員3人、委員以外12人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

2 地区の特徴、状況、課題

- 担い手は、認定農業者が2人いるが、それ以外がいない
- 農地の状況は、優良農地が遊休化している状況のなか、中津地区は農家組合が維持管理。小田宿野地区は、借地の場合は地主から管理料を徴収して農事組合法人が管理している

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 利用状況調査の内容について、農地地図と農地一覧等書類で協力員の情報交換を行う
小寺地区、脇地区、中村地区、新宮地区、中津地区、脇の浜地区、島陰地区…異動なし
田井地区…A分類8筆、A分類→B分類3筆
上司地区…A分類3筆 小田宿野地区…A分類3筆
- 事前通知調査項目の結果を意見交換。農業機械所有のない集落は1/12集落。所有の農家は、集落内で3～15戸。2集落はグループで所有。規模拡大が可能な農家は全集落で1法人3人だけ。
- 農家組合との話し合いは5地区無し。遊休農地に対応する受け手がないことがわかった



4 活動結果

- | | | |
|-----------|---|----|
| ○ 情報・意見交換 | 3 | 時間 |
| ○ 担い手への集積 | a | 増加 |
| ○ 遊休農地面積 | a | 解消 |
| ○ 新規就農者 | 人 | 支援 |